

「水道料金引き下げ」「子供の医療費無料化年齢を小学校卒業まで引き上げ」 の署名運動経過報告

「この請求書間違ってるわー」水道料金請求書を持って担当窓口へ駆け込んだのは、隣の町から越してきたAさんだけではありません。「子供がいると洗濯も多いでしょ？うちの友達水道料金が高いからとよそに引っ越したんよ。」「前に住んでいた町の3倍だ」など、岡山県下十五市の中で一番高い笠岡市の水道料金を引き下げてほしいという市民の願いには根強いものがあります。

(笠岡市＝2079円/10^m³、倉敷市＝819円/10^m³)

9年前、4歳未満までだった子供の医療費無料化制度は、市長交代劇の追い風にも助けられ、市民の改善を求める署名運動の高まりの中で、2歳引き上げられました。当時は県下で制度としてはトップであり、笠岡に学べと叫ばれたものでした。

今笠岡市は県施策と同じ「就学前まで」の無料化制度にとどまっていますが、周辺の自治体は、小学校3年、10歳未満と改善を進め、県下でも小学校6年、中学校3年までなど、子育て支援、人口増対策として取り組まれています。

今年7月、笠岡母親連絡会を中心に、市民の要求を出し合いました。国保税、介護保険料の引き下げもあげられましたが、今笠岡市は、年間500人～600人の人口減少に歯止めをかけ、定住促進、人口増対策を重点課題として打ち出しています。こうした時に①水道料金引き下げ②子供の医療費無料化対象年齢の引き上げは、人口流出を防ぎ、住みよい笠岡づくりに重要だと4回の準備会の中で確認されました。

「住みよい笠岡をつくる会」が正式発足した9月20日の署名スタート集会には、29名の市民の皆さんが参加され、それぞれの立場で決意を述べられました。市内幼保中PTA会長をはじめ、関係各団体、地域、友人、知人に署名協力をお願いに歩くのと平行して、スーパー前で、イベント会場で、又一斉に団地周りをして、など途切れることなく署名活動に取り組みました。11月16日に開かれた経験交流の集会では「保育園の運動会に持って行って書いてもらったんよ」「幼稚園の父母から協力の返事をもらってうれしかった」「母と二人で地域を歩いてとりました。」「会議の後、役員さんをお願いしました。」「街頭署名で300名分集まって、やればできると思った。」などの発言が出され、集められた約6000名分の署名を前に、残りの10日余りを頑張ろうと元気を出し合いました。19日には中間集約の署名約6000名を持って、市長に要望書を手渡し、懇談を持ちました。

11月25日は署名提出日です。それまでの1週間、回収の取り組みと、最

後の力を発揮する中、ついに目標の1万名を超えました。議会への請願書とあわせて、1万136名分の署名を提出しました。この署名数は、笠岡市民の5人に1人が署名した数に相当します。提出に参加した11名の顔は、確信に満ちあふれていました。その後の追加提出で、11361名分となっています。

この間、下水道の使用料約20%の値上げを2009年4月から実施するように市は計画していましたが、水道料金の引き下げを願う、市民の5分の1を超える署名提出の10日後、計画を1年後にさきのぼしするという報道がなされました。大きな影響力だったのだなとあらためて感じさせられました。

12月議会では①環境福祉常任委員会で子供の医療費について②建設産業常任委員会で水道料金引き下げについて審議されました。私たちは傍聴して見守りましたが、十分な論議のないまま二つとも継続審議となりました。

1月25日の第7回「つくる会」では13名が出席し、団体署名運動が提案され、取り組むこととなりました。3月議会は3月2日から始まるので、それまでの1ヶ月間、市民の願いを実現させるため、議会での採択に向けてさらに頑張ろうと意思統一しました。

3月4日、集められた26の団体・個人署名を提出しました。その中には民主団体だけでなく、地域の老人会なども含まれています。3月議会では来年度予算の中に、①について、小学校3年生までの引き上げ予算3000万円が上程されており私たちの大きな運動の成果だと思っております。請願については趣旨採択となりました。②については残念ながら市民の願いに答えてもらえず、不採択となりました。